

製品名: HDAC10 (5B13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11939**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:100-1:200, IP 1:50-1:200
分子量	71kDa

抗原情報

遺伝子名	HDAC10
別名	HD10; HDAC 10; Hdac10; Histone deacetylase 10; MGC149722;
遺伝子 ID	83933.0
SwissProt ID	Q969S8
免疫原	ヒト HDAC10 の合成ペプチド

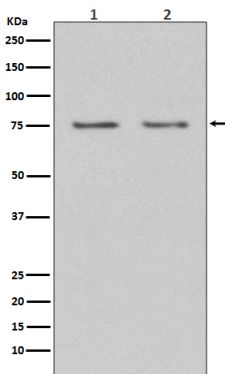
背景

コアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) の N 末端リジン残基の脱アセチル化を担う。ヒストンの脱アセチル化はエピジェネティック抑制の標識となり、転写調節、細胞周期の進行、そして発生過程において重要な役割を果たす。ヒストン脱アセチル化酵素は、巨大な多タンパク質複合体の形成を介して作用する。ポリアミン脱アセチル化酵素 (PDAC) は、N(8)-アセチルスぺルミジンに優先的に作用するが、アセチルカダベリンおよびアセチルプロレッシンにも作用する (PubMed:28516954)。N(1),N(8)-ジアセチルスぺルミジンに対する触媒活性は弱く、N(1)-アセチルスぺルミジンに対する活性は極めて低い (あるいは全くない) (PubMed:28516954)。ヒストン脱アセチル化酵素活性は *in vitro* で観察されている (PubMed:11861901, PubMed:11726666, PubMed:11677242, PubMed:11739383)。また、MSH2 の脱アセチル化にも関与していることが示されている (PubMed:26221039)。タンパク質 / ヒストン脱アセチル化酵素活性の生理学的関連性は不明であり、非常に弱い可能性がある (PubMed:28516954)。神経芽細胞腫細胞において、オートファジー後期段階の促進、おそらくオートファゴソーム-リソソーム融合および / またはリソソームエキソサイトーシスに関与する可能性がある (PubMed:23801752, PubMed:29968769)。相同組換えにも関与する可能性がある (PubMed:21247901)。DNA ミスマッチ修復を促進する可能性がある (PubMed:26221039)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) 3T3 細胞溶解物における HDAC10 発現のウエスタンブロット解析。